

アカデミー通信

先手必勝 中間で差をつける!

前期中間は一年で一番大切な試験。ここで差をつければ一年間効果が続く!

中学生はもうすぐ前期の中間試験を迎えます。最初にいいスタートを切ることは、スポーツと同様一番大切なことです。

そこで、今から始める勉強法と試験本番で高得点を取る方法を伝授します。

効果的な試験勉強のポイント

①今までにやったところを今から見直し、よく分からないところは塾の先生に尋ね、疑問点を残さない。

②余裕のスケジュールを立てる。試験の直前になると誰でも時間がなくなるもの。どの科目にどれくらいの時間が必要か、よく考える。特に苦手な科目に十分な時間を取ってよく準備する。

③単語、漢字、語句等は今まで習ったところは今からしっかりと練習しておく。試験前になって全部覚えることはできない。

④学校の授業で取ったノート、配られたプリント類、朝自習の問題などは、試験問題の宝庫。ここから試験にたくさん出るので、教科ごとにきちんと整理し、試験までに何度も見直し、やり直す。

⑤学校や塾での授業中、先生が「ここは大事」と言ったところや、板書してノートに取ったところは試験に出るので、確実に覚える。

⑥自分が覚えやすいように、自分なりの語呂合わせを工夫する。

⑦学校と塾の教科書・テキスト・ワーク・プリント。

⑧穴埋め問題では余分なことは書かない。

⑨記号選択問題は絶対に空白のまま置いておかず、想像をつけてカンで答える。答えを書くときもぐちゃぐちゃに消さないで、一度書かれないために選んだ答えは斜線で消していく。

⑩漢字で書けないときは、ひらがなで書く。漢字を間違えると0点になる。

⑪一つの問題が解けなくても別の問題に答えが隠されていることがよくある。

⑫国語の読解問題の答えは設問の中にあることが多い。「〇文字で答えよ」といったことは無理に思い出すとせざるに、どんな先に進んでいく。途中で思い出すことがある。

⑬同じ問題に時間をかけ過ぎず、できる問題を必ず解く。

⑭書いた答えは自信がなくても消しゴムで消ささない。消した答えが合っていることがよくある。

⑮計算のあとを残す。見直しをするときに計算のあとが残っていると間違いないと勘違いしやすくなる。

⑯最後まであきらめないで、時間ぎりぎりまで何点も見直す。高得点の人ほど最後まで問題に取り組んでいる。

⑰ひとつの試験が終わった次の試験までの休み時間に友達と答え合わせをしない。できていないと次の試験で油断するし、できていないと落ち込んで次の試験に悪影響を及ぼす。

⑱試験が全部終わったときが一番大切。間違いないから学んで最後に生かす。

今春平塚江南高校に合格したふたりにインタビューして、受験の成功の秘訣を聞きました。



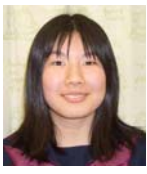
積田 佑弥君
中原 中

学院長 江南高校に合格するために、どのような勉強法をしましたか?

積田 とにかく苦手を克服するために、問題をたくさん解きましたね。そしてできなかった問題を繰り返し解き、理解を深めました。

学院長 問題の意味などがわからない時は、よく先生方に質問をしました。わからないところはどんどん質問することが大切だと思います。

学院長 本番の入試では? 積田 友達と話してリラック



東 千尋さん
金旭 中出身

学院長 江南高校に合格するために、東さんはどのような勉強法をしましたか?

東 基本は、予習は無理にせず復習を中心に勉強しました。それから過去問や問題集などでたくさん問題を解くようにしていました。また、覚えたいところや間違えたところは何度も繰り返し復習をすることで、確実なものにしていくように努めました。

学院長 前期選抜の面接はどうでしたか?

東 本番では緊張しなかったと思っていたのですが、実はとても緊張していたんだと今になってわかりました。面接の練習ではすんな

クスできたので緊張はしませんでした。あと、学院長先生の「本番で解けない問題があっても、そこで立ち止まらずに他の問題にとりかかろう」という言葉が忘れずに実行しました。できなかった問題を友達と答えあわせをしなくても心がけました。

学院長 念願の江南高校に入ってから、現在の高校生活はどうですか?

積田 勉強がやや大変ですが、新しい友達ができ、毎日がとても楽しいです。自分はテニス部に入っているのですが、部活に入ると、友達との輪がとても広がるので、後輩の人たちには部活はぜひともやってほしいですね。

学院長 アカデミーの思い出はどのようなものがありますか?

積田 アカデミーの思い出は、存分にアカデミーを楽しんでください。そして仲間とともに勉強を頑張ってください。やればやっただけの結果が出ます。

学院長 アカデミーの思い出は、予習をしなければならず、うまく伝えられなかったものもありました。ですが、アカデミーで先生方と何度も練習していたおかげで答えられなかったものはありませんでした。やっぱり、本番のような緊張の中で練習をしていただいたおかげだと思います。

学院長 高校生活はどうですか?

東 今では友達もたくさんできて楽しい学校生活を送っています。まわりはみんな優しい人しかいないので、良かったです。部活は弦楽部に入りましたが、先輩方もとても親切で居心地がいいです!

勉強は、やっぱりまわりがレベルの高い人たちがいるので、ついていくのに必死です。毎日復習をして

苦手教科対策

どの教科も万遍なくできる人も中にはいますが、ほとんどの人には得意教科・不得意教科があります。しかし苦手の原因を探っていくと、たいがい本人の先入観、偏見、基礎力不足に行き着きます。ということ

は、苦手教科対策は先入観・偏見をなくすこと、そして基礎力をつけること、が一番だということになります。

先入観にはどのようなものがあるかというと、「どうせ役に立たない」「面白くない」「暗記教科だ」「先生が嫌い」「自分はこの教科に向いていない」等等。しかし一方で、同じ教科を「役に立つ」「面白い」などと、まったく逆の考え方や感じ方をしている人も大勢いるわけです。

苦手教科克服の第一歩は、その教科に興味を持つことから始まります。

次に基礎からやり直すこと。苦手教科はほとんどの場合、知識があいまいなまま先に進んでしまい、分からないことがどんどん膨れ上がっていきます。英語が苦手な人はスペルがつづればそんな出会いや経験もできなかつたと思えます。

江南高校を目指すこと、アカデミーには本当に感謝でいっぱいです!

学院長 江南高校に合格するために、東さんはどのような勉強法をしましたか? 東 基本は、予習は無理にせず復習を中心に勉強しました。それから過去問や問題集などでたくさん問題を解くようにしていました。また、覚えたいところや間違えたところは何度も繰り返し復習をすることで、確実なものにしていくように努めました。学院長 前期選抜の面接はどうでしたか? 東 本番では緊張しなかったと思っていたのですが、実はとても緊張していたんだと今になってわかりました。面接の練習ではすんな

合格体験インタビュー